

2024年度 第2回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2024年7月26日（金） 14:00 ～ 14:30

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者：綾部市高齢者支援課 : 加柴 孝泰 様
中部地域包括支援センター : 小野 明日香 様
サロン広楽 : 梶村 隆三 様
複合型（管理者）: 白波瀬 実
複合型（訪問看護）: 清水 麻里

欠席者：無し

1、報告事項

- ・6月度実績：延べ登録者数 26名
延べ短期利用 0名
- ・平均介護度：3.25
- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、梅迫、大島、位田、味方、栗、駅前、
青野、本町、物部、岡、中ノ町、寺町、上野、多田、下八田、安国寺
()…新規
- ・サービス別 延べ提供数
通い：430回 泊り：173回 訪問（介護）：214回 訪問（看護）：13回
全サービス提供回数：830回（一人あたり平均サービス提供回数：6.2回）
（前回4月の実績）延べ登録者数 21名 短期利用0名 平均介護度 3.38
通い：354回 泊り：121回 訪問（介護）：201回 訪問（看護）：19回
全サービス提供回数 705回（一人あたり週平均サービス提供回数 6.8回）
- ・利用状況…新規利用者 2名（退院1名、退院後再利用1名）
終了・中断利用者 1名（長期入院）
- ・サービスごとの特徴
通いサービス…1日平均 14.3回（前回 12.1回）
泊りサービス…1日平均 5.8回（前回 4.0回）
訪問（介護）…1日平均 7.1回（前回 6.7回）
訪問（看護）…1日平均 0.4回（前回 0.6回）
- ・利用者の状況…新規利用者の状況
5月後半、在宅で家族の介護を行っていた方の体調が悪化。入院を予定されていたが、ベッドの空きが無いため困っておられた。要介護認定を受けていない方であったが、主治医などから複合型サービス利用の提案あり家族から申し込みあり。即日介護認定を申請され利用開始となった。泊り中心のサービス利用で体調管理や主治医との連携を行い入院までの間を繋いだ。
利用者の受け入れについて、登録定員に余裕があってもサービス提供体制の限度があるため、必要なサービス内容を確認して慎重に受け入れている状況を報告した。

2、介護サービスの状況、地域の状況、課題・要望・助言 等

複合型から利用者の個別避難計画の作成状況を報告。非常災害時等の避難時に支援が必要な方について、地域と協力・連携して避難できる計画の作成を進めている。避難所まで移動できるよう対象者の家族の車に乗車できるか京都府中丹リハビリテーション支援センターに評価・指導を依頼。その結果乗車することができた。計画作成に向け、まずは利用者の状態や支援内容を地域の方と情報共有することから開始。避難に協力していただける支援者を募って計画を具体化する。地域包括支援センターからは、地域から避難支援の相談があり、地域の勉強会に講師を派遣するなどの啓発活動を行っている。地域のサロンでは一人暮らしや障害のある高齢者の支援について考えている。繰り返し訓練を行うことが重要となることなど意見交換を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大について情報共有。複合型でも利用者の感染事例あり、季節の変化に合わせて拡大することが予想される状況。社会的には感染症5類となり軽視されているが、高齢者支援の現場では重症化で命に係わることもあるため警戒を続けている状況。

3、その他

- ・きょうりつカフェひだまり（認知症カフェ）…7/27

当事者と介護者に分かれ、介護者の懇談を行う予定。

- ・熱中症予防注意喚起調査

複合型でのアンケート調査により、熱中症の予防喚起の取り組みについて紹介した。

○ 次回、運営推進会議日程 2024年9月27日（金）14時～

※第4金曜日

以上